

環境活動レポート

平成 29 年度活動状況



(活動期間：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)



公益財団法人 相模原市まち・みどり公社

発行 平成 30 年 8 月

【目次】

- ・ 組織の概要 1
- ・ 対象範囲 2
- ・ 環境方針 4
- ・ 環境目標と実績 5
- ・ 環境活動計画 6
- ・ 環境活動の取組み結果と評価及び次年度への取組み 7
- ・ その他の取組み 10
- ・ 環境管理総括責任者による全体の評価と見直し 12

組織の概要

平成29年4月1日現在

1 事業所名及び代表者名

公益財団法人相模原市まち・みどり公社
理事長 小野澤敦夫

2 所在地

神奈川県相模原市中央区富士見6丁目6番23号

3 環境管理責任者

常務理事 八木 博

4 担当者

総務課総務係 金子 英樹
[TEL] 042-751-6623 [FAX] 042-751-2345
[E-mail] <http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp> (ホームページ⇒お問い合わせ)

5 事業目的

誰もが安全で安心して心豊かに暮らせるまちづくりを推進するため、都市環境の形成に必要な都市施設やみどりに関する事業等を行い、もって地域社会の健全な発展と市民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

6 主な事業内容

(1) 公益目的事業

- ア 都市施設その他の都市環境の形成に必要な施設の整備に関する事業
けやき会館、市民ロビー相模大野の運営（貸事務所・貸会議室等）
- イ 都市施設その他の都市環境の形成に必要な用地の整備に関する事業
相模原市からの委託に基づく国有地の管理・運営
- ウ 豊かな市民生活の形成及び地域の振興に関する事業
指定管理者制度に基づく公共施設（体育館・公園・プール・スケート場等）の管理・運営
- エ みどり豊かなまちづくりの推進に関する事業
緑化の普及啓発事業、都市緑化の推進事業等

(2) 収益事業

駐車場の運営、物品の貸付（スケート靴の貸出・レンタサイクル・スポーツ用具等）、物品の販売（自動販売機の設置等）

7 事業規模

資本金 206,578千円(市の出資97.8%)

8 職員数

全事業所 422名（臨時職員含む）

対象範囲

平成29年4月1日現在

1 対象施設

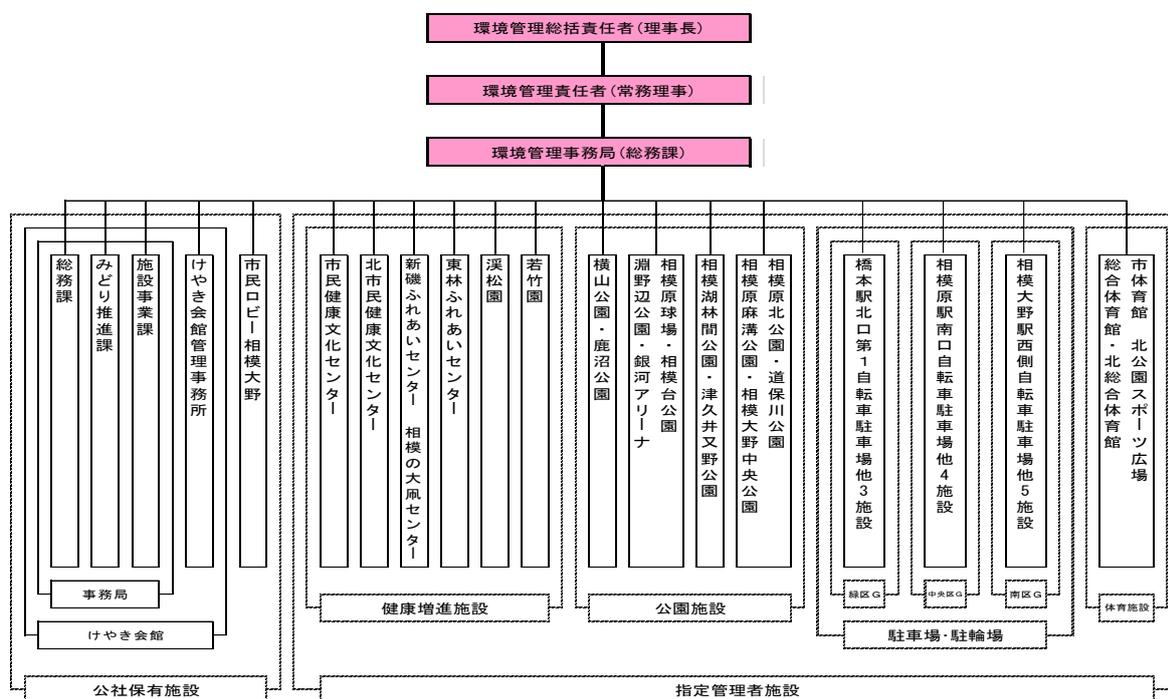
施設形態	番号	名称	備考(指定期間等)	
公社保有施設	1	けやき会館		
	2	市民ロビー相模大野		
指定管理者施設	3	市民健康文化センター	平成26年4月～平成31年3月	5年
	4	北市民健康文化センター	平成26年4月～平成31年3月	5年
	5	新磯ふれあいセンター 相模の大風センター	平成26年4月～平成31年3月	5年
	6	東林ふれあいセンター	平成29年4月～平成34年3月	5年
	7	溪松園	平成29年4月～平成34年3月	5年
	8	若竹園	平成29年4月～平成34年3月	5年
	9	横山公園	平成26年4月～平成31年3月	5年
	10	鹿沼公園	平成26年4月～平成31年3月	5年
	11	淵野辺公園 銀河アリーナ	平成26年4月～平成31年3月	5年
	12	相模原球場	平成26年4月～平成31年3月	5年
	13	相模台公園	平成26年4月～平成31年3月	5年
	14	相模湖林間公園	平成29年4月～平成34年3月	5年
	15	津久井又野公園	平成29年4月～平成34年3月	5年
	16	相模原麻溝公園	平成26年4月～平成31年3月	5年
	17	相模原北公園	平成26年4月～平成31年3月	5年
	18	相模大野中央公園	平成26年4月～平成31年3月	5年
	19	道保川公園	平成26年4月～平成31年3月	5年
	20	橋本駅北口第1自転車駐車場他3施設	平成27年4月～平成32年3月	5年
	21	相模原駅南口自転車駐車場他4施設	平成27年4月～平成32年3月	5年
	22	相模大野西側自転車駐車場他5施設	平成27年4月～平成32年3月	5年
	23	総合体育館	平成26年4月～平成31年3月	5年
	24	北総合体育館 北公園スポーツ広場	平成26年4月～平成31年3月	5年
	25	市体育館	平成26年4月～平成31年3月	5年

2 推進体制図

【推進体制図】

平成29年4月1日現在

公社環境マネジメントシステム推進体制



3 環境管理体制における役割・責任

区分	役割・責任
環境管理総括責任者 (理事長)	<ol style="list-style-type: none"> 環境経営システム全般の統括管理に関すること。 環境への取組みを適切に実行するための資源等の確保に関すること。 環境管理責任者の任命に関すること。
環境管理責任者 (常務理事)	<ol style="list-style-type: none"> 環境方針並びに環境経営システムの評価及び是正等の方針策定に関すること。 環境経営システムに係る文書類(環境活動レポートを含む)の承認に関すること。 環境活動計画に伴う取組結果に係る環境管理総括責任者への報告に関すること。
環境管理事務局 (所管:総務課)	<ol style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築及び運用管理に係る企画立案に関すること。 環境負荷及び環境への取組状況の把握に関すること。 環境目標及び環境活動計画の作成及び保存管理に関すること。 環境活動計画に基づく業務手順書の作成及び保存管理に関すること。 環境教育訓練プログラムの作成及び保存管理に関すること。 環境経営マニュアルの作成及び保存管理に関すること。 環境活動結果のとりまとめに関すること。 環境活動レポートの作成及び保存管理に関すること。 各サイトへの内部監査の実施に関すること。 前各号のほか、環境経営システムの運用に関する事務管理に関すること。
各施設 (エコリーダー)	<ol style="list-style-type: none"> 自部門の環境目標・環境活動計画の実践。 自部門の環境活動計画に係る実施状況の記録・確認・把握。 自部門に関連する法規制等の遵守。

環境方針

□基本理念

公益財団法人相模原市まち・みどり公社は、相模原市と密接な連携を保ち、相模原市の理想的な住みよい都市づくりを推進するため、都市環境及び都市施設の整備に必要な事業、更には、みどり豊かなまちづくりの推進に関する事業を行い、市勢の発展と市民の福祉向上に寄与することを目的としています。

今日の環境問題は、地球温暖化・オゾン層の破壊・酸性雨等、地球規模に及ぶ深刻な状況を迎えております。

これは、わたしたちが有限な天然資源・エネルギーを大量に消費し、不要なものを大量に排出・廃棄してきたことに起因するものです。

今こそ、わたしたちは、地球環境の保全に向けて行動し、環境への負荷が少ない循環型社会を形成していかなければなりません。

このような中、当公社は、持続可能な社会の実現を目指し、公社独自の環境マネジメントシステムを構築・運用し、率先して自主的・積極的に環境負荷の低減に取り組み、社会の一員である事業者としての社会的責任を果たしてまいります。

□行動指針

当公社は、基本理念の実現を図るため「わたしたちの美しい地球環境を守る」をスローガンとして掲げ、次の行動指針を定め、自主的・積極的な取組みを展開し、環境負荷を低減するための活動を推進します。

- 1 当公社の事業活動に伴う環境側面を的確に把握し、健全な環境の維持向上を図ります。
- 2 事業活動における、省エネルギー・省資源など環境負荷の低減に努め、廃棄物の削減やリサイクルの推進に取り組むとともに、グリーン購入を推進します。
- 3 環境に関する法令の規制等を遵守し、環境保全に努めます。
- 4 環境目標・実施計画を設定し、定期的な見直しを行い、継続的な改善を図ります。
- 5 全職員に環境方針を周知し、職員の教育訓練を進め、環境意識の向上を図ります。
- 6 この環境方針を広く内外に公表するとともに、環境マネジメントシステムの成果等を公開し、信頼性の向上を図ります。
- 7 事務、業務改善等への取組みを推進し、継続的な環境負荷の低減に努めます。

平成 29 年 4 月 1 日

公益財団法人相模原市まち・みどり公社

理事長 小野澤 敦夫

＜本社事務局・けやき会館管理事務所・指定管理者施設等の行動指針＞

- 1 本社事務局及びけやき会館管理事務所については、公社職員のほか、けやき会館入居団体の従事者等に環境方針を周知し、環境意識の向上を図るとともに、二酸化炭素排出量の削減、水使用量の削減、廃棄物の発生の削減等、環境負荷の低減に取り組みます。
- 2 各出先機関（指定管理者施設等）については、施設利用者等の理解・協力のもと、環境負荷の低減に取り組みます。

環境目標と実績

1 目標

平成28年度から平成30年度までの中期目標は、下表中No.1～4の各項目の排出量及び投入量を平成27年度実績に対して平成28年度に1%削減し、平成29年度には2%削減、そして平成30年度には3%削減したレベルまで低減することを目標とする。

*CO₂ 排出量の算定には、環境省の公表する平成27年度東京電力の実排出係数0.500kg-Co₂/kWhを使用しています。

No.	項 目	基準年度に対する削減量	
1	温室効果ガス排出量の削減 (電力消費量・都市ガス消費量・ガソリン使用量)	各年度	57,720 kg-CO ₂
		3年間	173,162 kg-CO ₂
2	総排水量の削減(水資源投入量)	各年度	2,150 m ³
		3年間	6,451 m ³
3	廃棄物排出量の削減	各年度	457 kg
		3年間	1,372 kg
4	総物質投入量の削減(コピー用紙・新聞紙)	各年度	45 kg
		3年間	136 kg

2 実績

No.	区 分	単 位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			基準年度	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	
1	温室効果ガス排出量の削減 (二酸化炭素排出量)	電力	kg-CO ₂	4,921,342	4,872,128	5,051,541	4,823,407	4,971,716	4,775,172
		都市ガス	kg-CO ₂	881,273	872,459	886,896	863,735	980,760	855,096
		ガソリン	kg-CO ₂	27,272	26,998	23,281	26,726	16,978	26,457
		合 計	kg-CO ₂	5,829,887	5,771,585	5,961,718	5,713,868	5,969,454	5,656,725
	[参考] 温室効果ガス排出量の削減に 関連する環境負荷項目	電力使用量	KWH	9,842,684	9,744,257	10,103,083	9,646,814	9,943,433	9,550,345
		都市ガス消費量	Nm ³	417,976	413,796	420,643	409,658	439,010	405,561
		ガソリン使用量	ℓ	11,747	11,629	10,028	11,512	7,313	11,396
2	総排水量の削減 (水資源投入量)	上水	m ³	217,135	214,963	222,607	212,813	218,148	210,684
3	廃棄物排出量の削減	再生利用 (紙類等)	kg	9,314	9,220	3,311	9,127	2,576	9,035
		単純焼却(可燃ごみ)	kg	36,760	36,392	37,964	36,028	35,611	35,667
		合 計	kg	46,074	45,612	41,275	45,155	38,187	44,702
4	総物質投入量の削減	コピー用紙・新聞紙	kg	4,527	4,481	6,161	4,436	3,785	4,391

※化学物質は使用していません。

環境活動計画

環境活動計画 [平成28年度・平成29年度・平成30年度]

No.	環 境 目 標			目標達成のための主な施策
	項 目	中 期 目 標	年 度 目 標	
1	温室効果ガス排出量削減 (電力消費量の削減) (都市ガス消費量の削減)	3年後 3%削減	前年度実績 の1%削減	①不要な照明の消灯 ②未使用電気機器(OA機器等)の電源オフ ③適正な照明区画(ゾーン)の見直し調査・検討 ④適正な空調管理(冷房28℃, 暖房19℃) ⑤クールビズ・ウォームビズの推進
	(ガソリン使用量の削減)	3年後 3%削減	前年度実績 の1%削減	⑥省エネルギー運転(エコドライブ)の励行 ⑦アイドリングストップの徹底
2	総排水量の削減	3年後	前年度実績 の1%削減	①節水呼び掛け(トイレ等に節水を促す掲示)
	(水資源投入量の削減)	3%削減		②トイレの2度流し・清掃時等で水の出しっ放しをしない
3	廃棄物排出量の削減	3年後 3%削減	前年度実績 の1%削減	①分別回収ボックスの適正配置
				②リサイクル資源とごみ分別の徹底
				③事業活動で発生したゴミのみ排出
				(職員個人のゴミは排出しない)
4	総物質投入量の削減 (コピー用紙・新聞紙購入量の削減)	3年後 3%削減	前年度実績 の1%削減	①文書のペーパーレス化の推進 ②コピー度数の削減 ③使用済用紙のリサイクル徹底

環境活動の取組み結果と評価及び次年度への取組み

1 温室効果ガス排出量（二酸化炭素排出量）

（1）目標達成に向けた主な取組み

ア 電力使用量・都市ガス使用量

- （ア）照明機器の適切な管理（不要な照明の消灯の徹底等）
- （イ）各種電気機器の適切な管理（未使用電気機器の電源オフの徹底等）
- （ウ）冷暖房機器の適切な管理（適正な室温設定等）

イ ガソリン使用量

- （ア）省エネルギー運転（エコドライブの励行）
- （イ）アイドリングストップの徹底

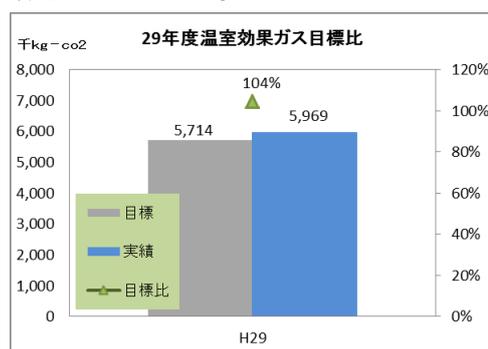
（2）実績と評価

ア 温室効果ガス排出量

平成29年度の温室効果ガス総排出量は5,969トン（CO₂換算）で、目標値に対し4.5%増、前年度実績比では0.1%増となりました。

主な増加要因としては、施設利用者等の熱中症予防策として、エアコンの温度を低めに設定したこと等により電力使用量が目標値を上回ったこと及び都市ガス使用量が目標値・前年度実績値ともに上回ったことが影響したものです。

なお、ガソリン使用量については2施設（名倉グラウンド、ふじのマレットゴルフ場）が対象施設から外れたほか、社用車の効率的な使用が図られたこと等により目標値・前年度実績値ともに大きく削減することができました。



イ 電力使用量

平成29年度の電力使用量は9,943千kwhで、目標値に対し3.1%増でしたが、これは、総合体育館における夏場のエアコンの温度設定や、銀河アリーナにおける冬場の冷凍機設備の稼働増等に伴い電力使用量が目標値を上回ったこと等が影響したものです。

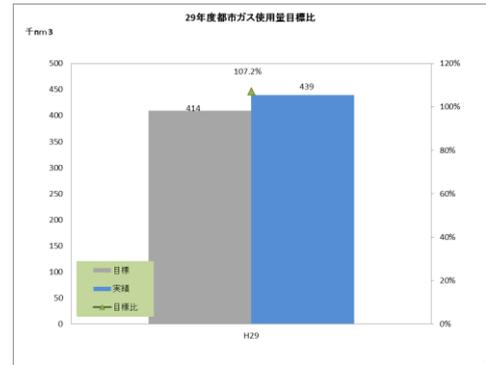
なお、前年度実績比では対象施設数の減少の他、公社全体での節電効果の影響もあり、1.6%減となりました。



ウ 都市ガス使用量

平成29年度の都市ガス使用量は439千Nm³で、目標値に対し7.2%増、前年度実績比では4.4%増となりました。

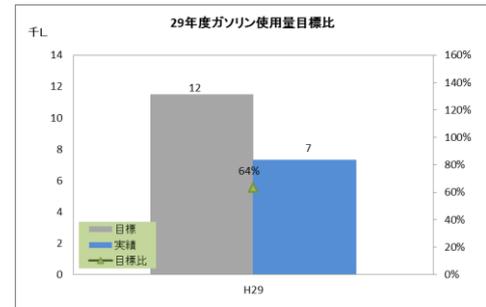
目標値及び前年度実績を上回った要因としては、空調にガスエンジンを使用している総合体育館における夏場のエアコンの温度設定等が影響したものです。



エ ガソリン使用量

平成29年度のガソリン使用量は7,313リットルで、目標値に対し36.5%減、前年度実績比では27.1%減となりました。

目標値及び前年度実績を大きく下回った要因としては、対象施設の減少のほか、社用車の効率的な使用が図られたこと等が影響したものです。



(3) 次年度への取組み

待機電力の削減、空調及び社用車の効率的な運用等を継続することで、電力使用量、都市ガス使用量及びガソリン使用量の削減に引き続き取り組んでいきます。

2 総排水量（上水使用量）

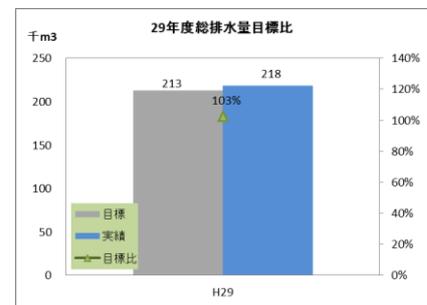
(1) 目標達成に向けた主な取組み

- ア 節水呼び掛けの推進（トイレ・洗面所等への掲示物の掲出等）
- イ “トイレの2度流し・清掃等で水の出しっ放しをしない”等の励行
- ウ 小便器洗浄回数の最適化

(2) 実績と評価

平成29年度の総排水量は218,148m³で、目標値に対しては2.5%の増加となりました。これは、銀河アリーナのスケートリンクに係る上水使用量が目標値を上回ったことによるものです。

なお、前年度実績比では北市民健康文化センターの一部施設修繕に係る臨時休業等の影響もあり2.0%減となりました。



(3) 次年度への取組み

総排水量については、引き続き、節水に関する呼び掛けや掲示物による注意喚起等基本的な取り組みを継続していきます。

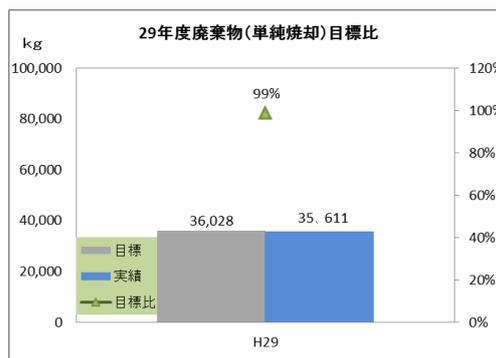
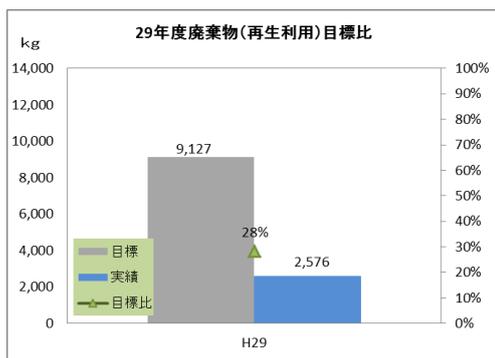
3 廃棄物排出量

(1) 目標達成に向けた主な取組み

- ア リサイクル資源とゴミ分別の徹底・分別回収ボックスの適正配置
- イ 事業活動で発生したゴミのみの排出徹底

(2) 実績と評価

平成29年度の廃棄物排出量は38,187kgで、目標値に対し15.4%減、前年度実績比では7.5%減となりました。これは、対象施設数の減少のほか、各施設において利用者にゴミ持ち帰りの啓発を継続した等により、事業活動以外のゴミの排出を抑制した成果によるものです。



(3) 次年度への取組み

ごみ箱設置箇所の制限、施設利用者に対するゴミの持ち帰りについての啓発を継続することで、引き続き廃棄物排出量の抑制に努めます。

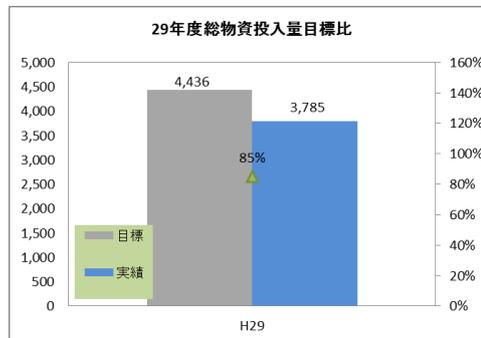
4 総物資投入量(コピー用紙・新聞紙)

(1) 目標達成に向けた主な取組み

- ア 文書のペーパーレス化の推進(グループウェアによる電子文書の活用等)
- イ コピー度数の削減(両面コピーの徹底等)
- ウ 使用済用紙のリサイクルの徹底

(2) 実績と評価

平成29年度の総物資投入量は3,785kgで、目標値に対し14.7%減、前年度実績比では38.6%減となりました。これは、けやき会館と市営駐車場中央区グループにおいて、コピー用紙の使用量が削減された影響によるものです。



(3) 次年度への取組み

文書のペーパーレス化の推進や両面コピーの徹底等の継続により、総物資投入量の削減を継続していきます。

その他の取組み

1 リユース（再使用）の取組み

施設で使用しなくなった物品を、他の施設で使用する「リユース（再使用）」の取組みを行っています。今後も「リユース」「逆リユース」を積極的に呼びかけ、ゴミの削減に努めていきます。

2 「環境社会検定」（エコ検定）取得の奨励

当会社では、職員に対し、業務に役立つ各種資格の取得を奨励しており、東京商工会議所が実施する「環境社会検定試験」（エコ検定）の取得の推進を図っています。

3 グリーン購入の推進

エコマーク等の認定を受けた商品購入に努め、環境負荷の低減を考慮した取組みを行います。

4 都市緑化の推進事業に係る取組み

（1）花のまちづくり・みどりいっぱい運動

市内における都市緑化事業として、自治会、子ども会等の市民の団体・グループに花の苗を配付し、市域の緑化推進に取り組んでいます。



（2）みどりのカーテン

地球温暖化やヒートアイランド現象への対策の一環として「みどりのカーテン」の栽培講習会や、家庭や公共施設、事業所等で栽培された「みどりのカーテン自慢コンテスト」を開催しています。



(3) 駐車場緑化の助成等

みどりのまちづくり奨励金交付事業において、市街地におけるヒートアイランド現象の緩和を図るため、駐車場等を緑化した個人等へ奨励金を交付しています。



(4) 機関紙「さがみはらグリーン」発行

緑化普及啓発を図る取組みとして、年2回発行しており、公社が管理運営する公共施設のほか、公民館の窓口等で配布し、市民に情報発信を行っています。

(5) フェイスブックによる情報発信

Facebook「みどりの情報発信」では、公社の緑化に関する取組みを、Facebook「公園ボランティア」では、公園等のボランティア活動を紹介する等、緑化に関するリアルタイムな情報発信に取り組んでいます。

(6) Web版「花とみどりの相談室」

草花や樹木の育て方に関する市民の疑問を解決するための手助けを目的に、公社HPに「花とみどりの相談室」を開設しています。

5 地域振興に係る取組み

(1) ペットボトルキャップの回収

公社では、ペットボトルのキャップを回収し、社会福祉法人への提供を通じて、CO₂削減に貢献しています。



環境管理総括責任者による全体の評価と見直し

当社は、平成20年度にエコアクション21に基づく環境マネジメントシステムを一部の施設に導入後、管理する全施設へ拡大し活動を推進してまいりました。

また、平成26年4月1日の旧公益財団法人相模原市みどりの協会との合併により、みどり豊かなまちづくりの推進に関する事業を新たに加えたことから、緑化意識の普及啓発を推進するため、市民を対象とした「みどりの講習会」の開催のほか、都市緑化の推進のための花苗配布事業、みどりのまちづくりの担い手となる公園ボランティアの育成、森づくりの推進・保全のための森林体験講座など、緑化や自然環境に資する事業を展開してまいりました。

その結果、環境に対する配慮の意識が職員全体に定着し、公社独自に同様の取組みを継続できるものと考え、平成28年度末をもってエコアクション21認証取得への取組みを終了し、平成29年度から本公社独自の環境マネジメントシステムを運用した取組みを開始しました。

指定管理者施設等においては、夏場の熱中症対策等の観点から利用者サービスを優先した空調管理を優先しながらも、できるかぎりの節電対策を実行し電力使用量については目標値は上回ったものの、前年度に比べ削減することができました。しかしながら、空調にガスエンジンを使用している施設での節約は難しく、目標値・前年度実績値ともに下回ることはできませんでした。

また、ガソリン使用量については、対象施設の減少のほか社用車の効率的な運用により、目標値・前年度実績値ともに大きく下回ることができました。

その他、廃棄物排出量及び総物資投入量については、ゴミの排出抑制やコピー用紙の使用量の削減等の地道な取組みにより、目標値・前年度実績値ともに下回ることができました。

今後も、各施設のエコリーダーを中心に、環境負荷低減に向けた取組みについて積極的に展開してまいります。

平成30年3月31日